

大発見 松帆

ど う た く 銅 鐸



平成 27 年 4 月、南あわじ市の 石材加工工場で、松帆地区より
採集された砂山から **銅鐸 7 点** が発見されました

全国 4 位!!

まい
舞



上の角度から

おうたい
横帯

ふくごうきよしもん
複合鋸歯文

かたもちこう
型持孔

おうたい
横帯

しゃこうしもん
斜格子文

1 号
銅鐸

ちゅう
鈕



ひしがた
断面が長い菱形

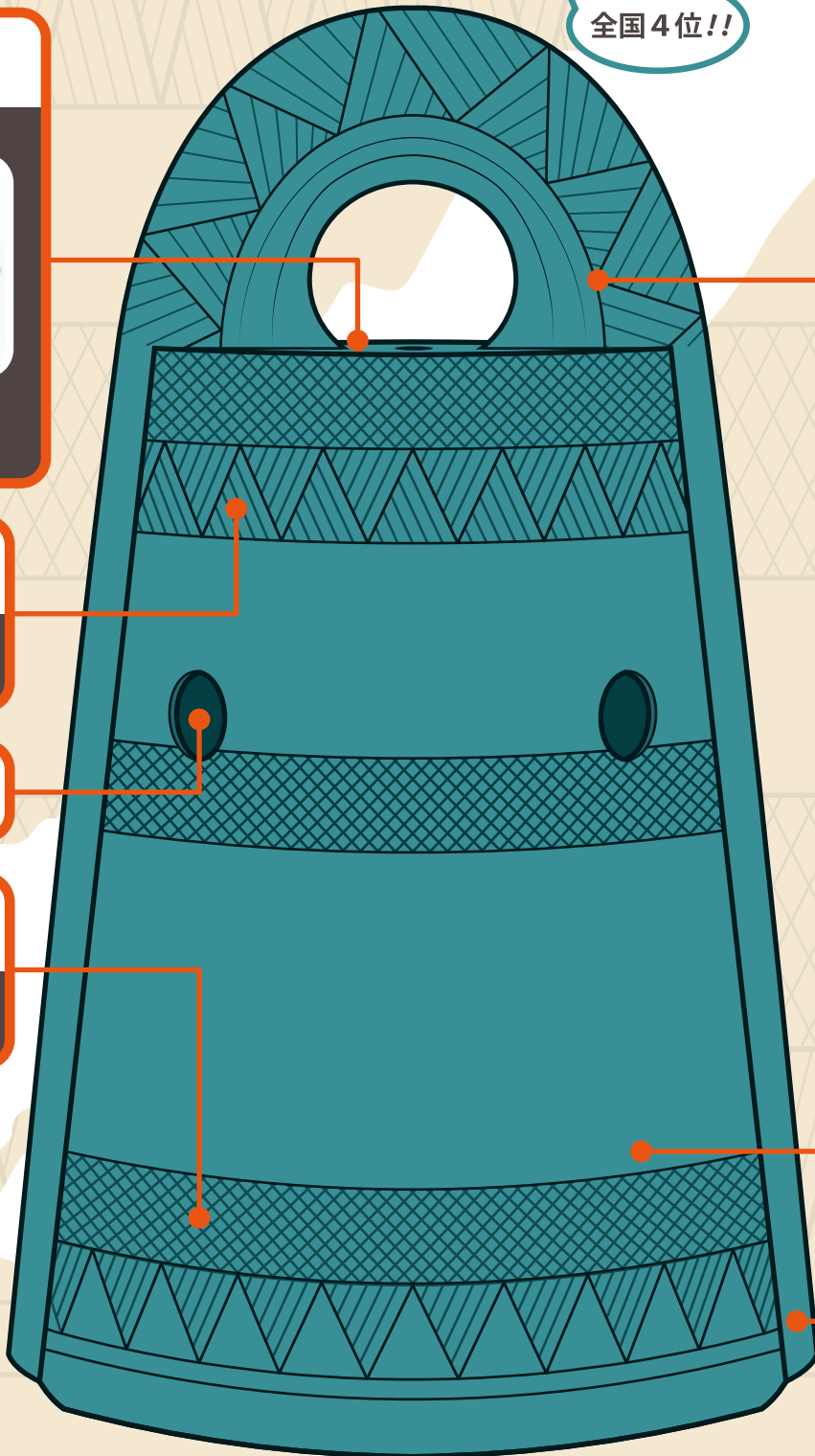
りょうかんちゅう
菱環鈕式

弥生時代前期末
~ 中期初頭

最も古い型式の
菱環鈕式銅鐸は
全国で 12 点しか
出土していません

み
身

ひれ
鰭



全国初!!

入れ子銅鐸の中に舌が!!

1・2号
3・4号
6・7号の
3組が入れ子



1号 2号

大きな銅鐸の中に
小さな銅鐸がIN!!



3・4号 6・7号

しまねけんかもいわくら
島根県加茂岩倉銅鐸に次ぐ
2例目の入れ子内部調査と
なりました

ちゅう
鈕



うすい板状の
外縁が付く

※写真は2号銅鐸

がいえんつきちゅう
外縁付鈕式
(2~7号銅鐸)
弥生時代中期
前半

4区
けさだすきもん
袈裟襷文

3・4号
銅鐸

3号銅鐸

ぜつ
舌



4号銅鐸

ないめんとつたい
内面突帯

これも
全国初!!

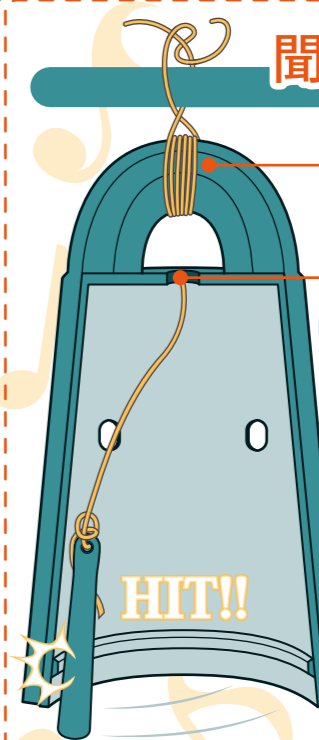
舌と銅鐸にひもが!!



舌と銅鐸がひもで
つり下げられて
いたことが
はっきりと
分かりました

聞く銅鐸 使用例

ひもでつり下げる



舌が内面突帯に
当たり音が鳴る

HIT!!



お祭りの時に鳴らされていました

これまでの常識を覆す

松帆銅鐸の謎?

海岸付近からの出土

→ 海の祭りと関係が?

舌をつり下げたまま埋める

→ 淡路島の風習か?



	松 帆 銅 鐸				舌	備考
	型式	文様	高さ	底幅	長さ	
1号	菱環鈕2式	横帯文	26.6 cm	15.5 cm	13.0 cm	菱環鈕式ではじめて舌を伴う
2号	外縁付鈕1式	4区袈裟禪文	22.4 cm	12.8 cm	8.0 cm	1号内に入れ子
3号	外縁付鈕1式	4区袈裟禪文	31.5 cm	17.5 cm	12.8 cm	
4号	外縁付鈕1式	4区袈裟禪文	約22.6 cm	約13.0 cm	8.8 cm	3号内に入れ子
5号	外縁付鈕1式	4区袈裟禪文	23.5 cm	計測不可	12.0 cm	舌は別の銅鐸のもの可能性あり
6号	外縁付鈕1式	4区袈裟禪文	31.8 cm	18.5 cm	13.8 cm	
7号	外縁付鈕1式	4区袈裟禪文	21.3 cm	13.0 cm	7.8 cm	6号内に入れ子

制作 南あわじ市埋蔵文化財調査事務所

〒656-0455 南あわじ市神代国衙 1100 TEL 0799-42-3849

発行 南あわじ市教育委員会

平成28年1月